

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	2718
部 名	経済部	課 名	商業観光課		課長名	加藤一嘉
事務事業名	相模の大凧まつり補助事業					
予算上の事務事業名	観光事業補助金（相模の大凧まつり）					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	35210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます					
基本施策名	第2節 観光の振興と余暇対策の推進				事業開始年度	
施策名	第1施策 魅力ある観光資源の整備と情報発信				昭和63年以前	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	なし					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	相模原市観光振興計画		都市の魅力づくりにつながる新しい地域文化を創出するなど、都市型観光の創造を目指し、62万人都市「相模原」のPRを進める。			
計画年次	14	年度～	18	年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		▼			
5 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）			
相模原市の五大観光行事の一つである相模の大凧まつりを支援することにより、地域の風土に培われた伝統文化の保存と継承に努めるとともに、市民の郷土意識を高める。			市民及び市外在住者			
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
「相模の大凧まつり」実行委員会への補助金の交付（補助金額3,780千円）及びまつり運営支援						
開催概要						
名 称 相模の大凧まつり						
開催日 平成16年5月4日（土）、5日（日）						
会 場 新磯地区						
内 容 約14.5m四方の大凧揚げ 題字「祝相」						
来場者 43,000人						
事業費 約884万円						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	3,780	3,000	3,472	3,472	3,472	
一般財源	3,780	3,000	3,472	3,472	3,472	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	4,092	3,938	3,968	3,968	3,968	
事業コスト合計(a)	7,872	6,938	7,440	7,440	7,440	
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）						
主たる事業名	相模の大凧まつり補助事業			対象名称 (単位)	来場者数(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	7,872	6,938	7,440	7,440	7,440	
対象数	75,000	80,000	43,000	115,000	115,000	
単位あたり経費(円)	105	87	173	65	65	
前年度比		0.83	2.00	0.37	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	補助率	指標式と指 標の説明	補助金計 / 実行委員会決算額計 × 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	48.0	43.4	39.0		
目標				50.0	50.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	来場者1人当りの補助金額	指標式と指 標の説明	補助金額 / 来場者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	50.4	37.5	87.9		
目標				50.0	50.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]: 良好な状態を維持する事業		
	[]: 概ね良好な状況である事業		
	[]: 見直しを行う必要がある事業		
	[]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業		
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 最寄駅から会場へのシャトルバスの運行、一般来場者参加型のイベントの企画など観光行事としての取り組みがなされている。			14 課題として認識されたこと 地元伝統行事から市(県)観光事業としての転換が求められている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			